

市政報告

令和8年3月定例会

高齢者の皆さまへ

安心・移動・つながりの確保

三郷市議会議員

鈴木優作

令和8年3月

本資料は三郷市議会議員 鈴木優作が独自に作成した資料であり、三郷市の公式発表ではありません。
掲載内容は令和 8 年 3 月定例会の施政方針および一般質問に基づいています。

令和 8 年度の三郷市予算は 617 億 5,000 万円。市税収入は約 247 億円（前年度比+6.6%）と増収し、まちづくりの成果が数字に表れています。高齢者の皆さまが「安心して暮らし続けられる三郷」を実現するために、施設のバリアフリー改善、移動手手段の確保、デジタルを活用した新しい支援の形が動き出しています。

3 月定例会のポイント

市の新事業 三郷市の施政方針に基づく事業

鈴木の一般質問 鈴木優作が議会で取り上げた内容

市の新事業

商業施設でマイナンバーカード手続き — 買い物ついでに

イトーヨーカドー三郷店にマイナンバーカード業務対応窓口が設置されます。交付体制が強化され、手続き時間の短縮が実現します。買い物ついでに手続きが完了するため、市役所まで出向く必要がなくなります。高齢者の皆さまにとって、身近な商業施設で行政手続きができるのは大きな利便性向上です。

施政方針

市の新事業

防災プラザみさとが開館 — VR 体験で防災を実感

南部地域に「みんなの防災プラザみさと」が令和 8 年度に開館します。VR 体験コンテンツが整備され、実際に体験しながら防災を学べる施設です。地域の避難拠点としても機能し、「いざという時にどこに逃げるか」を事前に確認できます。建築・機械・電気工事に加え、展示物の製造やシナリオ作成が進んでおり、三郷市の防災力の拠点となります。

施政方針

市の新事業

健康福社会館のエレベーター改修 — 公共施設のバリアフリー向上

健康福社会館のエレベーターが改修されます。高齢者の皆さまが日常的に利用する施設の物理的バリアが改善されます。同時に、北部図書館の大規模改修も実施。早稲田児童センターの大規模改修設計、鷹野文化センターの大規模改修、瑞沼市民センター体育館の屋根・床修繕も予算化されており、令和 8 年度は公共施設の集中改修年と言えます。身近な施設がより安全に、より使いやすくなります。

施政方針

市の新事業

大場川の治水対策 — 水害リスクの軽減へ

大場川上流排水機場の増強による排水改善の効果検証が実施されます。県と市の連携事業として検証結果を整理し、今後の対策に活かします。三郷市は河川に囲まれた地形のため水害リスクが懸念されていますが、県と連携した治水対策が着実に進んでいます。日常の安心につながる地道だけれど重要な取り組みです。

施政方針

市の新事業

ねりんピック（全国健康福祉祭）が三郷で開催

第 38 回全国健康福祉祭埼玉大会として、三郷市の総合体育館で「スポーツチャンバラ交流大会」が開催されます。全国から高齢者アスリートが集まる大会を三郷市がホストすることで、健康寿命延伸への意識が高まります。令和 8 年度予算で開催準備と大会運営の費用が確保されています。観戦も楽しめる全国規模のイベントです。

施政方針

鈴木優作の一般質問

以下は令和 8 年 3 月定例会で鈴木優作が市に対して要望・提案した内容です。決定事項ではなく、実現に向けて引き続き働きかけてまいります。

☎ 三郷市 LINE 公式アカウントに登録しませんか？

鈴木が議会で要望している内容の多くは、LINE 公式アカウントの活用に関わるものです。まずは友だち追加して、三郷市の最新情報を受け取ってください。巻末の QR コードから登録できます。

📄 一般質問の詳細はこちら → yusaku-suzuki.com/council-qa-202603

鈴木の一一般質問

AI 活用で行政サービスの質を向上

一般質問で AI 活用と法的整理の推進を取り上げました。三郷市では既に AI-OCR（手書き文字の自動読取）、音声テキスト化、文章要約、窓口自動翻訳システムを導入済みです。これらの技術をさらに発展させ、窓口での相談対応の質向上や、一人ひとりに合った情報提供の実現を目指しています。県内自治体との共同調達によるコスト削減も実施されており、限られた予算で最大の効果を生む体制づくりを求めました。

一般質問

鈴木の一般質問

LINE 公式アカウント — 行政情報の集約で市民の利便性向上

一般質問で LINE 公式アカウントの活用拡大を提案しました。行政情報の LINE への集約を進め、居住地域や属性に応じたセグメント配信を実現することで、高齢者の皆さまに必要な情報（健康診断の案内、介護予防教室、防犯情報など）を選んでお届けできる仕組みを目指しています。スマホ一つで市の情報が手元に届く便利なツールになります。

一般質問

鈴木の一般質問

自主防災組織の連携強化 — 共助の網の目からこぼれない体制へ

三郷市には多数の自主防災組織がありますが、担い手の高齢化と自治会加入率の低下が進む中、災害時に本当に機能するかが課題です。一般質問で自主防災組織の連携を取り上げ、デジタルツールを活用した組織間の相互連絡体制の構築を提案しました。電話がつながりにくい災害時でも、インターネット回線は比較的早く復旧します。「共助の網の目からこぼれ落ちる人をゼロにする」ための体制づくりを求めました。

一般質問

鈴木優作より

「デジタル化=置いていかれる」ではありません。買い物ついでの窓口相談、LINE 一つで届く情報、防犯情報の即時配信、自主防災組織の連携強化。テクノロジーは皆さまの暮らしを楽にするために使います。公共施設のバリアフリー改善、防災プラザの開館、治水対策の推進。目に見える改善と、目に見えない安心の両方を積み重ねてまいります。

LINE で友だち追加してください

<p style="text-align: center;">三郷市</p> <p style="text-align: center;">LINE 公式アカウント</p>  <p style="text-align: center;">三郷市公式の情報配信</p>	<p style="text-align: center;">三郷市最新ニュース</p> <p style="text-align: center;">from 鈴木優作</p>  <p style="text-align: center;">防災・イベント・行政情報</p>	<p style="text-align: center;">鈴木優作</p> <p style="text-align: center;">LINE 公式アカウント</p>  <p style="text-align: center;">市政相談・ご意見ご要望</p>
---	--	---

 一般質問の詳細 → yusaku-suzuki.com/council-qa-202603

QR コードをスマホのカメラで読み取るだけで友だち追加できます